令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート(政策的経費))

【事務	『業	シー	- ト (政策的経費)】									
1 当初	事	項	庁舎	等管理費							予算主	三管課	農政課
	事	業	西条	 第二庁舎の維持 ⁶	管理及	び愛南庁舎並び	に四国	中央庁舎の使用	—— 料の支	 払い等を	始	———— 期	H17
	概		行う								終.	 期	
			施設		——— 不旦合								
				下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 』			 R 8 年 度
			時点・期間	R4年度		R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
	K F	P I			目標値		目標値	0 件	目標値		件	目標値	0 件
			現状値	0 件	実績値	0 件	実績値	件	実績値		件	実績値	件
					達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				7	最終現計予算額	60,276 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
			٦	スト	決算額	52,537 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
				評価年度(「達成	×100%	6未満」の場合、要	記入。)						
5	要	要因分		総括(事業最終年)	度の場合	今、要記入。)							
年 度	見直	重し方	5向性	5	年度の	容の説明(維持・序 KPIの実績はほぼ想 考えられることから	定どお	りの成果が出ており	0、6年	度以降も事			どにより、KPIは目標達
2 当初	事	項	経営	体育成支援事業							予算主	三管課	農政課
	事	業	人・鳥	農地プランの中心紹	営体や	経営発展を目指す農	農業者な	いど多様な経営体の	育成・	確保を図る	始	期	H12
	概	要	上でぬ	必要となる農業用機	続成や施	設の導入等の整備/	へ支援を	行う。			終	———— 期	_
			事業	 実施者の付加価 ^ん	値額の)目標達成率							
				上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J			 R 8 年 度
			時点・期間	R4年度		R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度	~	時点·期間	R8年度
	K F	P I			目標値	80 %	目標値	80 %	目標値	80	%	目標値	80 %
			現状値	50 %	実績値	R6.9末頃判明 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	- %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				スト	最終現計予 算額	18,133 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				X 1	決算額	15,000 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5	要	要因分	祈	評価年度(「達成達成 を		6未満」の場合、要 会、要記入。)	記入。)						
年					<u> </u>		-		<u> </u>	-+ <i>Fre</i> -> >			
度				見 		容の説明(維持・序 予算の見直しは想定			事業組替				
					/ 平浸	ア昇の兄担しは怨か	EUCU	1/4.C 1°					
				6.01.1									
	見直	した	前性	維持									

3 当初	事	項	農業	遺産地域躍動推	進事業	費					予算主	上管課	農政課
	事	業				橘農業システム」の					始	期	R2
	概	要		可工等を凶るとと [.] こつなげる。	ひに、辰	林水産資源を活用し	ノに展れ	1体験寺の推進によ	り、辰	山漁州の活	終	———— 期	R8
					目標達	成項目数(全19	項目)	の増加					
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 原			R 8 年 度
	 K F		時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
		1			目標値	16 <mark>項目</mark>	目標値	17 <mark>項目</mark>	目標値	18	項目	目標値	19 <mark>項目</mark>
			現状値	14 項目	実績値	13 <mark>項目</mark>	実績値	項目	実績値		項目	実績値	項目
					達成率	81.25 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			\neg	スト	最終現計予 算額	13,530 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	決算額		決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要	更因分	析	が伸び悩み、目標を達成実施できていると認識しまがまできていると認識し続います。 総括 (事業最終年	できなか・ ,ている。 度の場合	った。しかし、その他のま	を達項目に	ついても目標値に対する	達成率は8	80%を超えるな			られる。一方で、新規就農者数 保全に資する取組みが各地域で
度	見直	亘し方	向性		、流を伴 こともに		ロされる E取得に	ることにより、地産 に向け、情報発信に	地消の(努める)	足進と柑橘消 ことにより、			動の増加が見込まれる 確保が見込まれるた

4 \	当初	事	項	「南	予の媛小春」	魅力	フアッ	プ事業費(南予)					予算主	管課	農産園芸課	
		事	業								販向け品目としての! を発揮した柑橘王国の			始	期	R5	
		概	要		30、所得増加及							,,,,,,		終	期	R7	
				南予	地域の媛小春	年間	引生産	量					_				
			,	KPI種別	上がると良い	旨標		R 5 年 度			R 6 年 度		R 7 年 度	ž		R 8 年 度	
		K P		時点・期間	R4年度		時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間		
			-				目標値	12 <mark>t</mark>		目標値	18 <mark>t</mark>	目標値	25	t	目標値		t
				現状値	10	t	実績値	25.5 <mark>t</mark>		実績値	t	実績値		t	実績値		t
							達成率	212.50 %		達成率	%	達成率		%	達成率		%
			現状値 10 T				最終現計予 算額	1,000 千		最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
							決算額	908 T	一円	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
	5 年,	要	因分		総括(事業最終			·		ē. I. ► . □/	**************************************	⋾ ₩⟨□ҳ	·未 你 \				
	度	見直	し方	访的性	維持	5 £	年度の	KPIの実績はホ	想定以.	上の成	でき・大幅見直し(草果が出ており、 6年で方法や7年度予算の	三度以降	4も現状の二		まえると	(PIは目標達成	なすると

当初	事 項		かぐや」産地育かも「媛かぐや」は、			□──	喜いにもかかわら	ず鉄控両チ	まが地ラブハ	予算主 		農産園芸課
	事業概要	ないこ	いる「媛がくで」は、 ことから、栽培体系の レを確立し、伊予市・	構築と加	加工事業者等と連携し	Jた需要	創出に取り組むこ			—————————————————————————————————————		R5 R7
		中予	地域の媛かぐや	栽培面	 積							
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 原			R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	
				目標値	6 <mark>a</mark>	目標値	22 <mark>a</mark>	目標値	40	a	目標値	а
		現状値	2 a	実績値	6 <mark>a</mark>	実績値	а	実績値		a	実績値	a
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			7 6	最終現計予 算額	1,198 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			スト	決算額	1,084 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	要因分			金のセク								
5 年	要因分		総括(事業最終年)	度の場合	合、要記入。)							
5 年 度	要因分		見	直し内 [:] 年度の 考える	容の説明(維持・原 KPIの実績は想定と	ぎおりの	成果が出ており、	6年度以	以降も現状の			よび新規生産者の増見直しは想定してい
年	見直しが	方向性	見 5 を 維持	直し内: 年度の 考える 。	容の説明(維持・原 KPIの実績は想定と と、KPIは目標達成	ぎおりの	成果が出ており、	6年度以	以降も現状の	法や7年月		

6 当初	事	事 項	えひ	め食農教育	推進 事	事業費	,						予算主	三管課	農産園芸課	7
	事	事 業)生産について学び **承と地域特産農産			始	期	H17	
	根	既 要	る。	个例关/口 <i>主</i> /八~7以7 ユ	_ /↑ ↑ ±	ンくり	で通じて民	EXTLODE	ョ /文 * 州	亚州 C.地场时生辰任	こうのしつかり		終	期	R 6	
			えひ	め食文化普及	及講座	並を受	講後のア	ンケー	トで、	「もう1度食べ	てみた	:い」と思う	5割合			
			KPI種別	上がると良い			R 5 年 原	支		R 6 年 度		R 7 年 月	ŧ		R 8 年 度	
	l _K	ΡI	時点・期間	R3年度		時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
		K P I 目標値 90 % 目標値 90 %									90	%	目標値	90	%	
			現状値	85	%	実績値			実績値	%	実績値		%	実績値		%
						達成率	102.22		達成率	%	達成率		%	達成率		%
			\neg	スト		最終現計予 算額	1,093		最終現計予算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				評価年度(「		決算額	1,093		決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年		要因分	-	総括(事業最				,	- 1 -		± ₩/₽.					
度	見	直し方	5向性	維持	5: の	年度の 作成・	KPIの実	績は目様 、レシb	票値を超 ご集作成	(善・大幅見直し(追えており、6年度 はも予定しており、	は、これ	れまでの食文				

7	当初	事 項	さく	らひめ産地強化	事業費	(中予)					予算主	管課	農産園芸課
		事業	T₹	くらひめ」の収益向	可上の力	ギとなる卒業式等の	の需要期	出荷に欠かせない	夏季の	自家育苗技	始	———— 期	R5
		概要	術を る。	確立するとともに、	生産者	から消費者を結ぶ関	反売体系	系を構築し、生産者	の収益に	句上を図	終	———— 朝	R7
			中予	地域の夏季自家	育苗に	取り組んでいる	「さく	らひめ」生産者	割合				
ı			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5			R 8 年 度
		 D. T.	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R5~R6年度	時点·期間	R5~R7年	度	時点·期間	
		KPI			目標値	10 <mark>%</mark>	目標値	15 <mark>%</mark>	目標値	20	%	目標値	%
			現状値	0 %	実績値	12.5 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	125.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
	,		_		最終現計予算額	1,089 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
				スト	決算額	1,054 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
		要因分	分析	評価年度(「達成		5未満」の場合、要 合、要記入。)	記入。)						
	5 年 度			5	年度の	KPIの実績はほぼ想	定どお	₹善・大幅見直し(りの成果が出ており○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○<l></l>	つ、6年	度以降も現			えると、KPIは目標達
		見直しフ	方向性	維持									
								-					
8	当初	事項		なみ地域の魅力					↔	うがたし生	予算主	管課	農産園芸課
8	当初	事業	しま	なみ地域で産地化を	を進めて	きたオリーブ、醸造	き用ぶと	・) ごう、夏季レモン、 連携を強化し、販路			予算主始		農産園芸課 R4
8	当初		しま ^が を中が	なみ地域で産地化を	を進めて いた特色	きたオリーブ、醸造 のある農産品の品!	き用ぶと	う、夏季レモン、				期	
8	当初	事業	しま? を中/ ント	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域農	を進めて いた特色 農業ブラ	きたオリーブ、醸造 のある農産品の品E ンドを構築する。	き用ぶる 目間の選	う、夏季レモン、	の共有 ⁻		始	期	R4
8	当初	事業	しま? を中/ ント	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域 なみ地域のオリ	を進めて ^た特色 農業ブラ ーブ、	きたオリーブ、醸造 のある農産品の品E ンドを構築する。	き用ぶる 目間の選	でう、夏季レモン、 連携を強化し、販路	の共有 ⁻		始終	期	R4
8	当初	事 業 概 要	しま ⁷ を中 ⁷ ント ⁶	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域 なみ地域のオリ	を進めて ハた特色 農業ブラ 一ブ、	きたオリーブ、醸造 のある農産品の品目 ンドを構築する。 醸造用ぶどう、	き用ぶる 目間の選	ごう、夏季レモン、 連携を強化し、販路 ・モン等の販売額	の共有 ⁻	や共同イベ	始終	期	R4 R5 R 8 年 度
8 8	当初	事業	しまれ を中パント等 しま	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域是 なみ地域のオリ 上がると良い指標	を進めて ハた特色 農業ブラ 一ブ、	きたオリーブ、醸造 のある農産品の品質 ンドを構築する。 醸造用ぶどう、 R 5 年 度	豊用ぶる 目間の選 夏季レ	ごう、夏季レモン、 連携を強化し、販路 ・モン等の販売額 R 6 年 度	の共有を	や共同イベ	始終	期	R4 R5 R 8 年 度
8	当初	事 業 概 要	しまれ を中パント等 しま	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域是 なみ地域のオリ 上がると良い指標	を進めて ハた特色 農業ブラ 一ブ、	きたオリーブ、醸造のある農産品の品質 ンドを構築する。 醸造用ぶどう、 R 5 年 度 R5年度	き用ぶる 目間の選 夏季レ	でう、夏季レモン、 連携を強化し、販路 モン等の販売額 R 6 年 度 千円	の共有 ⁻	や共同イベ	始 終 隻	期 期 時点·期間	R4 R5 R 8 年 度
88	当初	事 業 概 要	しまれ を中パント等 しま KPI種別	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域 なみ地域のオリ 上がると良い指標 R4年度	を進めて ハた特色 豊業ブラ 一ブ、 時点・期間 目標値	きたオリーブ、醸造のある農産品の品質といいまで構築する。 醸造用ぶどう、 R 5 年 度 R5年度 2500 <mark>千円</mark>	き用ぶる 目間の選 夏季レ 時点・期間 目標値	できる。 夏季レモン、 連携を強化し、販路 モン等の販売額 R 6 年 度 <mark>千円</mark> 千円	の共有 ² 時点・期間 目標値	や共同イベ	始 終 章	期 期 時点·期間 目標値	R4 R5 R 8 年 度 千円
8	当初	事 業 概 要	しまれた。 を中かい しま KPI種別 時点・期間	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域 なみ地域のオリ 上がると良い指標 R4年度 1600 千円	を進めて へた特色 豊業ブラ ーブ、 _{時点・期間} 目標値 実績値	きたオリーブ、醸造のある農産品の品質というで構築する。 醸造用ぶどう、具体のできます。 R 5 年度 R5年度 2500 千円 3478 千円	き用ぶる 目間の選 夏季レ 時点・期間 目標値 実績値	できる。 夏季レモン、 連携を強化し、販路 モン等の販売額 R 6 年 度 <mark>千円</mark> 千円	の共有 ² 時点・期間 目標値 実績値	や共同イベ	数 終 手円 千円	期 時点·期間 目標値 実績値	R4 R5 R 8 年 度 千円 千円
8	当初	事 業 概 要	しまれた。 を中かい しま KPI種別 時点・期間	なみ地域で産地化を 心に、地域に芽吹い 等から新しい地域 なみ地域のオリ 上がると良い指標 R4年度	を進めていた特色 き業プラーブ、 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終期計予	きたオリーブ、醸造のある農産品の品質 ンドを構築する。 醸造用ぶどう、 R 5 年 度 R5年度 2500 千円 3478 千円 139.12 %	き用ぶる 目間の道 夏季レ 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	できる。 夏季レモン、 連携を強化し、販路 モン等の販売額 R 6 年 度 千円 千円 % 千円	の共有 ² 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	や共同イベ R 7 年 F	接 終 千円 千円 %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R4 R5 R 8 年 度 千円 千円 %
8	当初 5 年 度	事 業 概 要	しをン しま RPI種別 現状値 コ	なみ地域で産地化を いに、地域に芽吹い 等から新しい地域。 なみ地域のオリ 上がると良い指標 R4年度 1600 千円 スト 評価年度(「達成。 総括(事業最終年) なきたいできた。 の自立と自走によ	 進力 時目実達 決別 本別 を見り を見り	きたオリーブ、醸造のある農産品の品質を構築する。 醸造用ぶどう、 R 5 年 度 R5年度 2500 千円 3478 千円 139.12 % 1,965 千円 1,850 千円 5未満」の場合、要 高、要記入。) の出店などで共同 販売面に課題を有いた力の向上と販売	世界 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京	できる。 夏季レモン、 連携を強化し、販路 ・モン等の販売額 R 6 年 度 ・千円 ・千円 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	の共	や共同イベ R 7 年 iiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiiii	度 千円 千円 % 千円 千円	明 明 時点·期間 目標値 達成率 最終現計予算額 決算額	R4 R5 R 8 年 度 千円 千円 % 千円

当初						(中予) 					3 773	E管課 ————	農産園芸課
	事 業	なす	産地の強化	とを図る	るため	、化学合成農薬	に頼ら	ない天敵昆虫を	利用し	た防除技	始	期	R3
	概要	術の	確立や新規	見栽培る	きの確	保に取り組む。					終	期	R5
		中予	 ・地域で天命	放昆虫 等	等を利	 用したなす栽培	農家割	 合					1
		KPI種別	I			R 5 年 度		- R 6 年 度		R 7 年 5	芰		R 8 年 度
	 	時点・期間	R4年/			R5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
	KPI				目標値	15 <mark>%</mark>	目標値	%	目標値		%	目標値	%
		現状値	11	%	実績値	16 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	106.67 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
		_			最終現計予算額	1,719 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
			スト		決算額	1,589 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千日
5 年度	要因が		露地実証を行う中	を利用した で、先行し したマニュ	環境にや て24人の アルを活	さしい防除技術を確立した。 農家が当技術を導入、新規 用し、さらなる技術の普及な	栽培者15人を と図るととも	の成果として「天敵利用マスを確保するなど、KPI及びKC Sに、なす以外の果菜類(き	GI実績値のi ゅうり、ト [、]	可上に好影響を与 マト)についても	えることができ	きた。令和6年	F度以降は、農業改良普及指
 á初	事項	ひめ	の凜ブラン	ンドカ引	強化事	· · 業 費					予算主	上管課	農産園芸課
当初	事項業概	高品:	質な「ひめの)凜」の 5に、県	安定生 内外の	産のために、JAの		操調製施設の乾燥・ ^{賃極} 的にPRして、高				期	農産園芸課 R4 R6
当初	事 業	高品 を支 整備	質な「ひめの 援するととも)凜」の 5に、県 どを図る	安定生 内外の	産のために、JAの					始	期	R4
当初	事 業	高品 を支 整備	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凜栽培面)凜」の 5に、県 どを図る 5積	安定生 内外の 。	産のために、JAの					始終	期	R4
当初	事業概要	高品 を支 整備 ひめ KPI種別	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凜栽培面)凜」の らに、県 どを図る 面積 い指標	安定生内外の。	産のために、JAの 消費者に「ひめの	凛」を積	^{賃極} 的にPRして、高		産体制の	始終	期	R4 R6 R 8 年 度
当初	事 業	高品 を支 整備 ひめ KPI種別	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の 凜栽培面 上がると良)凜」の らに、県 どを図る 面積 い指標	安定生内外の。	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度	凛」を積	^{賃極的にPRして、高} R 6 年 度	高品質生	産体制の	始終	期期	R4 R6 R 8 年 度
<u></u>	事業概要	高品 を支 整備 ひめ KPI種別	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凜栽培面 上がると良 R4年月)凜」の らに、県 どを図る 面積 い指標	安定生 内外の。	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度	凛」を積	極的にPRして、高 R 6 年 度 R6年度	高品質生 _{時点·期間}	産体制の	始 終 動	期 期 時点·期間	R4 R6 R 8 年 度
á 初	事業概要	高品 を支 整備 ひめ KPI種別 _{時点・期間}	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凛栽培面 上がると良 R4年月)凜」の らに、県 ごを図る 面積 い指標 支	安定生 内外の。 。 _{時点・期間} 目標値	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度 750 ha 670 ha	凛」を積 時点・期間 目標値	極的にPRして、高 R 6 年 度 R6年度 1000 ha	高品質生 時点·期間 目標値	産体制の	始 終 t	期 期 時点·期間 目標値	R4 R6 R 8 年 度 ha
当初	事業概要	高品を支 整備 ひめ KPI種別 時点・期間 現状値	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凛栽培 上がると良 R4年月)凜」の らに、県 ごを図る 面積 い指標 支	安定生 内外の。 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度 750 ha 670 ha 89.33 %	凛」を積 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	極的にPRして、高 R 6 年 度 R6年度 1000 ha ha %	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	産体制の	始 終 ha ha	期 期 時点·期間 目標値 実績値	R4 R6 R 8 年度 ha ha
当初	事業概要	高品を支 整備 ひめ KPI種別 時点・期間 現状値	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の凛栽培 上がると良 R4年月 505	京に、県 で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	安定生 内外の。 時点・期間 目標値 達成 最終現計予 算額 決算額	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度 750 ha 670 ha 89.33 % 51,010 千円 51,000 千円	凛」を積 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現ま計予 算額 決算額	極的にPRして、高R 6 年度 R6年度 1000 ha ha ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高品質生 時点·期間 目標値 実績値 達成率	産体制の R7年	数 格 ha ha %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R4 R6 R 8 年度 ha ha %
	事業概要	高を整 で で で で で で で で で で で で で	質な「ひめの 援するととも とブランド化 の 凜 栽 培 値 上が ると年 505 ス ト で 度 面 積 に 試験 販売が 「	© 「	安定生 内外の。 時点・期間 目標値 実績成率 環境類類 を100% と133%	産のために、JAの 消費者に「ひめの R 5 年 度 R5年度 750 ha 670 ha 89.33 % 51,010 千円 51,000 千円 6未満」の場合、要 6と着実に増加して	凛」を積 時点・期間 目標値 実 遠 遠 決 算額 決 入 る もの	極的にPRして、高R 6 年度 R6年度 1000 ha ha ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高品質生 時点・期間 目標値 実績値 達成率 環類類 決算額 決算額	産体制の R 7 年 5	b A B A A A M 千円	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	R4 R6 R 8 年 度 ha ha % 千F

11 当初	月	耳	みど	りの食料システ	ム戦略	推進事業費						予算主	管課	農産園芸課
	事	業	国の	「みどりの食料シス	ステム戦	略」において	掲げられ	こ目標に向い	ナ、県計画	・方針	に基づき、	始	期	R4
	相	既 要	有機	農業への転換支援な	ど、有	機資源利用や	化学肥料	・農薬の削減	は等の推進	を図る	0	終.	期	R6
			環境	に配慮した農業	生産取	組面積								
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年	度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度
	k	ΡI	時点・期間	R3年度	時点·期間	R5年度	時点	嫺 R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	
					目標値	882 <mark>h</mark> a	a 目標	値 88	6 ha	目標値	890	ha	目標値	ha
			現状値	786 ha	実績値	764 <mark>h</mark> a	a 実績	値	ha	実績値		ha	実績値	ha
					達成率	86.62 %	, o 達ß	率	%	達成率		%	達成率	%
					最終現計予 算額	32,917 千	上 日 最終現		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				スト	決算額	20,309 T	- 円 決算	額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年		要因分		したため未達成となる 総括(事業最終年度	なった。			**多が (** F	K 真初の月	FIJA C. A		.//、工/至1		こより栽培面積が減少
度	見	直しれ	方向性	5	年度の	容の説明(維 KPIの実績はE 機資源の利用・	目標に達し	ていないが	、6年度以	以降も維	迷続して県計			有機農業への転換支援 組んでいく。

12 当初	事項	パク	チー周年安定	生産体制	川確立事業費(中	予)				予算主	三管課	農産園芸課	
	事業	収益(性が高く市場で個	昼位性が其	月待できるパクチー	について	て、全国有数のパク	チー産り	也を目指す	始	期	R4	
	概要	ため、	、産地を東温市な	ら中予地	地域に拡大させ、周9	年安定生	上産体制を確立する	0		終	期	R6	
		中予	地域のパクチ	-生産者	首数								
		KPI種別	100000		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	芰		R 8 年 度	
	K P I	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度		R6年度	時点·期間			時点·期間		
				目標値		目標値		目標値		人	目標値		人
		現状値	13 人			実績値	7 7	実績値		人	実績値		人
				達成率		達成率	%	達成率		%	達成率		%
		コ	スト	最終現計	1,000 十円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				決算額	i 1,374 <u>千円</u>	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
			計御 <u>牛</u> 皮(「佳 	水 <u>~100</u> 0	%未満」の場合、要	記入。)						
5 年	要因:		総括(事業最終			記入。							

ا د د	当初	事	тъ	117	リカノル	⇒₩竝.	九 北洋	ネットワーク構	统审型				マ 告 -	→ 左右≡⊞	典英国共田
13	اردرا ل	尹	块	97	ルソイムに	表来日/	义 旧等	ペットノーン何	米学未				丁/异二	主管課 	農産園芸課
		事	業	生産	見場と指導機	と 関等を かんりょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	高画質	映像等を活用した	ネットワ	フークで結び、専門	家の助記	言による高	始	朔	R2
		概	要	いレ	ベルの診断や	P指導が	「リアル	タイムで可能とな	るシスラ	- ムを実用化する。			終	 §期	R6
				<u>=</u> ## £ \	田田のシュ	7=1.15		断依頼件数(経過	性種) ×	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	s.7=	ルに トス 診り	彩/无击百/什米		
									1日1示) %		<u> </u>			,x 	.
					上がると良 R4年 月			R 5 年 度 R5年度	n+	R 6 年 度 R6年度	n+ + +nn	R 7 年 5		時点·期間	R 8 年 度 T
		K P	I	時点・期間	K4+/	支					時点·期間		件		件
				TO 4 15 /=		/ /-	目標値	96 件	目標値		目標値		• •	目標値	
				現状値	-	件	実績値	42 件	実績値	件	実績値		件	実績値	件
							達成率最終現計予	43.75 %	達成率	% ##	達成率		% I II	達成率	%
				コ	スト		算額	15,326 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	千円
ļ						+ + + -	決算額	15,065 千円 」の場合、要記入。)	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	5	要	因分	祈	令和 5 年度は 見込み、96件 結果となった。	試験運用 としたが 。	期間とし	、7月から総計48名 <i>の</i>							人あたり 2 件の診断依頼を の件数は見込みより少ない
	度	見直	した	5向性	維持	令							6年度の	KPI及び勃	(行方法の見直しは想
14	当初	事	項	七折	小梅産地科	「興支	援事業	費(中予)					予算:	 主管課	農産園芸課
		事	業	「七	 折小梅」 <i>σ</i>	D安定	生産に	向けた栽培技術	の検証	や優良苗木の増	殖等に	より、園	始	讲	R3
		概	要	地の	再興を図る	5.							4⁄5	 §期	R5
													η-		INS
				七折				植更新面積(累	:計) 		_			_	
				KPI種別				R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月			R 8 年 度
		K P	Ι	時点・期間	R4年/	<u> </u>		R5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
					2		目標値	3 ha	目標値	ha	目標値		ha '	目標値	ha
				現状値	2	ha	実績値	3 ha	実績値	ha	実績値		ha	実績値	ha
							達成率	100.00 %	達成率	% ************************************	達成率		% I	達成率	%
				⊐	スト		算額	1,522 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	1.15
					== /= /= /=		決算額	1,254 千円	決算額		決算額		千円	決算額	千円
	5 年	要	因分		総括(事業最終 七折小梅の優良 に新たな担い手	年度の場 系統の選 として就	合、要記/ 抜と改植の 農するこの	D推進(3ha/17ha改植)	,) により、 以降は、農	安定生産の道筋ができた					入れた研修生が、令和6年4月 所向上支援による生産安定等に
	度	見直	し方	5向性		見	直し内	容の説明(維持・原	廃止・改	(善・大幅見直し(事業組替	替等))			

.5 当初	事項	久万	高原地域食材伝統	承事業	費(中予)					予算主	上管課	農産園芸課
	事業	久万	高原地域の活性化	とのた	め、雑穀の生産り	増加を	:図り、貴重な	地域食材	を伝承す	始	期	R4
	概要	る。								終	期	R6
		久万	高原における雑類	段の栽	培者数							
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年)	度		R 8 年 度
	K P 1	時点・期間	R3~R4年度	時点·期間	3		時点·期間					
				目標値	Ī	人	目標値	人				
		現状値	14 人	実績値	Ī	人	実績値	人				
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	3	%	達成率	%
			7 1	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円				
			スト	決算額	1,037 千円	決算額	千円	決算額	į	千円	決算額	千円
5 年	要因	分析	総括(事業最終年度総括(事業最終年度		•	できた	か」と今後の展	開についる	こ記入。)			
度	見直し	方向性	5	年度の	容の説明(維持・序 KPIの実績はほぼ想 えると、KPIは目標	定どお	りの成果が出て	おり、6年	F度以降も雑			の販売や原料需要の状 想定していない。
.6 当初	事項	傾斜		モデル	 ·整備事業費					予算主	上管課	農産園芸課

当初	事 項	傾斜	園地作業効率 (比モデル	 整備事業費					予算主	 E管課	農産園芸課
	事業	園地	 の緩傾斜化な。		性の高いモデル	 園地の	 整備を支援し、i	再編整	 備を補完	始	———— 期	R4
	, , ,									終	 期	R6
		自主	 施工により傾á	 を緩和	 したモデル園地	 面積						
		KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	 芰		R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R3年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間			時点·期間	
	K I I			目標値	120 <mark>a</mark>	目標値	120 <mark>a</mark>	目標値		а	目標値	a
		現状値	0 a	実績値	81.6 <mark>a</mark>	実績値	a	実績値		а	実績値	a
				達成率	68.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
		_	スト	最終現計予算額	13,760 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
					· ·		千円	決算額		千円	決算額	千円
						,	ᆲᄟᄬᄺᇰᇢᇰᄵᅩ	5C +- T+T /F	1 7:1++ +-		マ笠は 目	3.4.光压火壳、按摩工士
			1311, 10 0 0 19,97	0 0 7013	()(1)2 (10)20151111	1000		,	<u> </u>	072273	ν шіжоў	
	要因為	分析										
			総括(事業最終年	F度の場合	合、要記入。)							
5												
•				見直し内		を上・水		事業組を				
岌									- ·• /	り事業費が	増額して	 いるという現状を踏ま
				を開催し	、農家に対し園地の	D傾斜緩	和の重要性を周知 ⁻	するとと	こもに、傾斜	4緩和に取	り組む気	運の醸成を図り、更な
	見直し	万间性	改善改善	る成果の	向上につなげる。							
		事概 K P I 要	事業要	事業 概要 園地の緩傾斜化なるする手法としての管理 (KPI 理別 上がると良い指摘 R3年度 現状値 0 a コスト 評価年度(「達成 KPIであるモデル I5m/10aで積算 要因分析 総括(事業最終年)	事業 園地の緩傾斜化などの生産する手法としての普及定着 自主施工により傾斜を緩和	事 業 園地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル関地 する手法としての普及定着を図る。 自主施工により傾斜を緩和したモデル関地	事業 園地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地のする手法としての普及定着を図る。 自主施工により傾斜を緩和したモデル園地面積 R 5 年 度 日標値 120 a 日本の 120 a 日本の	事業 園地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地の整備を支援し、視 要 する手法としての普及定着を図る。	国地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地の整備を支援し、再編整する手法としての普及定着を図る。 自主施工により傾斜を緩和したモデル園地面積	B 図地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地の整備を支援し、再編整備を補完する手法としての普及定着を図る。		東京 国地の緩傾斜化などの生産性の高いモデル園地の整備を支援し、再編整備を補完 始期 する手法としての普及定着を図る。 終期

	当初	事「	項	儲か	るモデル産	地育 。	成シス	テム確立	推進事	業費				予算主	三管課	農産園芸課	₽
	Ī	事業	業	普及約	組織が普及指	導計画	(産地	づくりビジ	ョン)	の目標を	達成し、儲かるモ	デル産ュ	地育成シス	始	———— 期	R5	
		概	要							トップ層	層における先進技術	のミド	ル層での技	終.	#A	R9	
	-				正や、流通販				<u>行う。</u>					ボ ミ:	,,, ,,	K9	
				戦略	品目の販売	額(対	付R4£	F度比)									
				KPI種別	上がると良	い指標		R 5 年 度	Ž		R 6 年 度		R 7 年 J	芟		R 8 年 度	
		ΚP		時点・期間	R4年/		時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度	
		1	1				目標値	4	%増	目標値	8 <mark>%増</mark>	目標値	12	%增	目標値	16	%増
				現状値	0	%増	実績値	7	%増	実績値	%増	実績値		%増	実績値		%増
							達成率	175.00	%	達成率	%	達成率		%	達成率		%
			-				最終現計予 算額	13,000	千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
					スト		決算額	9,030	千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
					評価年度(「達成 ^፮	× 100%	 6未満」の場	合、要	記入。)							
		要团	因分	-	総括(事業語		度の場合	合、要記入。)								
	5 年																
	度	見直し) 方	向性	維持	普		機関と密接			を選手・大幅見直し(関づくりに貢献して			度の執行	方法や7年	度予算の見直	直しは想定
_																	
_ [当初	事 T	TE	击绰	10周祭7			`						之 答 →	- 答: m	典帝国共和	B
18	当初	事「			復旧園発え					_ 力にも	まづく 無控かど 生	产効変/	の言い手本	予算主		農産園芸課	₹
18	当初	事具事業	<u> </u>	上浦均	也区再編復旧	園を活	用し、	ロボット作	業やデ-		まづく栽培など、生 きとして呼びみお物			予算主		農産園芸課 R5	₹
18	当初 -		業 要	上浦地型果村	也区再編復旧 尌園をモデル	園を活んのに整	用し、 (備し、	ロボット作 若い移住者	業やデ-		基づく栽培など、生 首として呼び込む拠				期		F
18	当初 - -	事	業 要	上浦 ^均 型果材 ととも	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放	園を活い的に整でである。	用し、 備し、 の横展	ロボット作 若い移住者	業やデ-					始	期	R5	
18	当初 - -	事	業要	上浦 ^は 型果材 ととも スマ	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ	園を活いのに整 収棄地へ リ園地で	用し、 備し、 の横展 面積	ロボット作 若い移住者 開を図る。	業やデ- 等を新 ⁵		首として呼び込む拠		て構築する	始	期	R5 R7	
18	当初 - - -	事	業要	上浦地型果材ととも	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良	園を活かりに整な乗地へ リ園地で リ園地で い指標	用し、 備し、 の横展 面積	ロボット作 若い移住者 開を図る。 R 5 年 度	業やデ- 等を新 ^対	見就農者	i として呼び込む拠 R 6 年 度	点とし [・]	て構築する R 7 年 J	始	期期	R5 R7 R 8 年 度	
18		事	業要	上浦 ^は 型果材 ととも スマ	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ	園を活かりに整な乗地へ リ園地で リ園地で い指標	用し、 備し、 の横展 面積	ロボット作 若い移住者 開を図る。 R 5 年 度 R5~R5年	業やデ- 等を新 ^対 手度	見就農者 時点·期間	i として呼び込む拠 R 6 年 度 R5~R6年度	点とし	て構築する R 7 年 』 R5~R7年	始 終 妻 E 度	期期時点・期間	R5 R7 R 8 年 度	
18		事業概要	業 要	上浦地型果村ととも スマ KPI種別 時点・期間	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良 R4年月	園を活めて整 変乗地へ ノ園地 が い指標 き	用し、 備し、 の横展 面積 _{時点・期間} 目標値	ロボット作 若い移住者 開を図る。 R 5 年 度 R5~R5年 1	業やデー 等を新規 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	見就農者 時点·期間 目標値	i として呼び込む拠 R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha	点とし [*] _{時点・期間} 目標値	C構築する R 7 年 J R5~R7年 9	变 E度 ha	期 期 時点·期間 目標値	R5 R7 R 8 年 度	ha
18		事業概要	業 要	上浦地型果材ととも	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良	園を活めて整 変乗地へ ノ園地 が い指標 き	用し、 備し、 の 積 ・ ・	ロボット作 若い移住者 開を図る。 R 5 年 度 R5~R5年 1	業やデー 等を新規 E度 ha	見就農者 時点·期間 目標値 実績値	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha	点とし [・] 時点・期間 目標値 実績値	C構築する R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha	期 時点·期間 目標値 実績値	R5 R7 R 8 年 度	ha ha
18		事業概要	業 要	上浦地型果村ととも スマ KPI種別 時点・期間	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良 R4年月	園を活めて整 変乗地へ ノ園地 が い指標 き	用し、 備 横 面積 時点・期間 目標値 実績 成率	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年 1 100.00	業やデー等を新見 等を新見 下度 ha ha %	現就農者 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha %	点とし _{時点・期間} 目標値 実績値 達成率	C構築する R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R 8 年 度	ha ha %
18		事業概要	業 要	上浦地型果材ととマスマ スマ KPI種別 時点・期間	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良 R4年月	園を活めて整 変集地で リ園地で い指標 ま ha	用し、 ・ の積 ・ 時点・期間 自 ・ 実績成 楽 現ま 予 ・ 算額	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年 1 100.00 3,566	業やデー等を新見 等を新見 を を を を を を を を を を が は る の の の の の の の の の の の の の の の の の の	見就農者 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 質額	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円	点とし 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額	R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha % 千円	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R 8 年 度	ha ha % 千円
18		事業概要	業 要	上浦地 型果村 スマ KPI種別 現状値	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良 R4年月 0	園を活 の の 東地 の 事地 い 指標 も ha	用 (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の)	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年 1 100.00 3,566 2,700	業やデー等を新見 等を新見 を を を を は は は は は は は は は は る は る は る し る し る し	見就農者 時点·期間 目標値 達成 最終現計予 算額 決算額	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円	点とし 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R 8 年 度	ha ha %
18		事業概要	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園の東 園地で を整へ り指標 は は は は は は は は は は は は は	用 備 の 積 時 に に に に に に に に に に に に に	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年1100.003,5662,7006未満」の場	業 等 を新 ト ト ト ト る ト る 、 千 円 一 会 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	見就農者 時点·期間 目標値 達成 最終現計予 算額 決算額	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円	点とし 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額	R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha % 千円	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R8年度	ha ha % 千円
18	5	事 親 K P	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がると良 R4年月 0	園の東 園地で を整へ り指標 は は は は は は は は は は は は は	用 備 の 積 時 に に に に に に に に に に に に に	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年1100.003,5662,7006未満」の場	業 等 を新 ト ト ト ト る ト る 、 千 円 一 会 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、	見就農者 時点·期間 目標値 達成 最終現計予 算額 決算額	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円	点とし 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額	R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha % 千円	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R8年度	ha ha % 千円
18	5 年	事 親 K P	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園的東 園地 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	用備の 積	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年1100.003,56627006未満」の場合、要記入。	業等 を新 を は に に に に に に に に に に に に に	現就農 時点·期間 値 塞 景 遠 景 遠 景 遠 景 漢 景 第 第 第 第 第 3 第 3 第 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円	点 時点 標 積 成 環 算 算 額	R 7 年 J R5~R7年 9	度 E度 ha ha % 千円	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R5 R7 R8年度	ha ha % 千円
18	5	事 親 K P	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園的東 園 が ま	用備の 積 時点標績成親類第 の ししし、展 は は は は な は で で で で で で で で で で で で で で	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年11100.003,5662,7006未満」の場合、要記入。	業等 を を を は に に に に に に に に に に に に に	現就 時点 標 績 成 環 算 算 記 記 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円
18	5 年	事 親 K P	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園的葉 園 が ま	用備の 積 時息 実 達 線 第 第 第 1009 回 年 1009 回 6 回 年 1009 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年 度R5~R5年 1 1 100.00 3,566 2,700 6未満」の場 での説明(KPIの実績に	業等 を を を を は を を に が が が が が が が が が が が が が	現就 時点 厚 達 議 決 記	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円 10の成果が出ている	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円
	5 年	事 親 K P	業 要	上型とス RPI種別 現状値 コ 析	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園的葉 園 が ま	用備の 積 時息 実 達 線 第 第 第 1009 回 年 1009 回 6 回 年 1009 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年度R5~R5年11100.003,5662,7006未満」の場合、要記入。	業等 を を を を は に が を を に が を に が に が に に に に に に に に に に に に に	現就 時点 厚 達 議 決 記	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円 10の成果が出ている	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円
18	5 年 度	事 親 K P	業 要	上型と ス KPI 環 現 ボ 新 大 大 T 東 大 大 の に が の に に の に に に に に に に に に に に に に	也区再編復旧 封園をモデル ちに、耕作放 ートアグリ 上がるとも R4年月 0 スト 評価年度(園的葉 園 が ま	用備の 積 時息 実 達 線 第 第 第 1009 回 年 1009 回 6 回 年 1009 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年 度R5~R5年 1 1 100.00 3,566 2,700 6未満」の場 での説明(KPIの実績に	業等 を を を を は に が を を に が を に が に が に に に に に に に に に に に に に	現就 時点 厚 達 議 決 記	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円 10の成果が出ている	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円
18	5 年 度	事 概 K P 要	業 要	上型と ス KPI 環 現 ボ 新 大 大 T 東 大 大 の に が の に に の に に に に に に に に に に に に に	世区再編復旧 世区再編復旧 地図の、耕作が 一トアグ と 日本 日本 日	園的葉 園 が ま	用備の 積 時息 実 達 線 第 第 第 1009 回 年 1009 回 6 回 年 1009 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年 度R5~R5年 1 1 100.00 3,566 2,700 6未満」の場 での説明(KPIの実績に	業等 を を を を は に が を を に が を に が に が に に に に に に に に に に に に に	現就 時点 厚 達 議 決 記	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円 10の成果が出ている	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円
18	5 年 度	事 概 K P 要	業 要	上型と ス KPI 環 現 ボ 新 大 大 T 東 大 大 の に が の に に の に に に に に に に に に に に に に	世区再編復旧 世区再編復旧 地図の、耕作が 一トアグ と 日本 日本 日	園的葉 園 が ま	用備の 積 時息 実 達 線 第 第 第 1009 回 年 1009 回 6 回 年 1009 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回 6 回	ロボット作若い移住者開を図る。 R 5 年 度R5~R5年 1 1 100.00 3,566 2,700 6未満」の場 での説明(KPIの実績に	業等 を を を を は に が を を に が を に が に が に に に に に に に に に に に に に	現就 時点 厚 達 議 決 記	R 6 年 度 R5~R6年度 6 ha ha % 千円 千円 10の成果が出ている	点 時点 標 績 成 環 算 算 額 また	R 7 年 月 R5~R7年 9	度 F度 ha ha % 千円	期 時点·期間 達成。 最終現點子算額 決算額	R5 R7 R 8 年度	ha ha % 千円 千円

9月	事 項	化学	肥料低減定着対	策支援	事業費					予算主	管課	農産園芸課
補正	事業	肥料	価格が以前より高な	く準にあ	る中、価格変動の	影響を受	受けづらい生産体制	の確立に	こ向けて、	始		R5
	概要	化学					か、本県の特徴的な	急傾斜[園地や小規	終 	#B	R5
					かれ機械の導入費					ポミナ	∜]	K5
		各地				に基つ	き取り組んだ地	域協議				
		KPI種別	上海 3 CEC 11		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5			R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R5.7		R6.3	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
				目標値						地域協議会	目標値	地域協議会
		現状値	0 地域協議会					実績値		地域協議会	実績値	地域協議会
				達成率		達成率	%	達成率		%	達成率	%
		コ	スト	算額	15,813 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	千円
			評価年度(「達成率1	決算額	/	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年 度	要因が		実施となった。 総括(事業最終年 事業要望のあった た。	度の場合地域協議	合、要記入。) 議会に、化学肥料低	続に向		をなたい	小肥等を運搬			らあったため、7協議会の 門散布機を導入でき
 12月 補正 後		燃料		らしてい	いる中、県内施設園		D負担軽減を図るた			予算主		農産園芸課 R5
追	概要	ネッ	ト構築事業に加入し	ノている	5農家に対して、燃料	料に係る	る経費の一部を緊急	的に支持	爰する。	終	朝	R6
加)		施設	園芸セーフティ	ネット	株築事業への加	入件数	Į.					
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5	芰		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
				目標値	62 件	目標値	67 <mark>件</mark>	目標値		件	目標値	件
		現状値	37 件	実績値	67 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	108.06 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
		· ¬	スト	最終現計予 算額	3,090 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A 1.	決算額	2,262 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年 度	要因分		総括(事業最終年	度の場			文善・大幅見直し(事業組	替等))			
					KPIの実績は目標り 達へ継続して加入を						年度も施	設園芸セーフティネッ

維持

見直し方向性

21 当初	事:	項 有	害鳥獣総合捕獲事	業費						予算主	三管課	農産園芸課
	事:	業 イ		ニホン	ゲル適正管理計画等	等に基7	づく効果的な有害鳥	獣の捕	 嬳を推進す	始	期	R3
	概	要る	ため、市町が実施する	有害鳥	獣の捕獲奨励金交付	寸事業の	D支援を行う。			終	期	R8
		1	ノシシ年間捕獲頭	数								
		KPI	■ 上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 🧵	芰		R 8 年 度
	K P	時点 ·	R3年度	時点·期間	R5.6	時点·期間	R6.6	時点·期間	R7.6		時点·期間	R8.6
				目標値	33000 頭	目標値	33000 頭	目標値	33000	頭	目標値	33000 頭
		現物	值 26956 頭	実績値	35764 <mark>頭</mark>	実績値	頭	実績値		頭	実績値	頭
				達成率	108.38 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
		•	コスト	最終現計予 算額	115,340 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			J	決算額	110,345 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要[因分析	総括(事業最終年度	度の場合	合、要記入。)							
度	見直(少方向 (每 持	年33,0		ことで				性があるも	5のである	ることから、現状を維
当初	.	т Б 🛨	立刑目制定州34/13	七十四十	:					マ告う	- 左右 = R	典辞周芒钿

当初	事項	未来	型果樹産地強	化支援事	業費					予算主	主管課	農産園芸課
	事業	県果	 	基づき、	未来型果樹園を核	とした国	園地力・商品力の向	上を推済	進するとと	始	·期	R3
	概要	もに、	、西日本豪雨災害	いらの後	夏旧園地の生産力強	化に向り	ナた取組みの支援を	行う。		終	期	R7
		果実	生産量									
		KPI種別	上がると良い指	標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	茛		R 8 年 度
	 K P I	時点・期間	R2年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	
				目標値	225750 t	目標値	229040 t	目標値	232330	t	目標値	t
		現状値	208884 t	実績値	221324 t	実績値	t	実績値		t	実績値	t
				達成率	98.04 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	87,252 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A	>+ 2 4 2 4 2 7	06 054 75			>+ ケケカエ				
					<u> </u>			決算額		標値はおる	おむね達点	
5 年	要因:	分析		 成率100 ⁹ 高齢化が	M未満」の場合、要 進む中ではあるが、	記入。)					<u>千円</u> 成した。

23	当初 	事	項	水田	農業競争力強化	支援事	業費					予算主	三管課	農産園芸課
		事	業	水田	農業を振興する	ため、	生産基盤の強化	化や大規	関模経営体の育成	支援等	により、	始	期	R4
		概	要	需要	に応じた生産を	推進し	·、競争力強化。	と収益性	向上を図る。			終	期	R7
				愛媛	県米・麦・大豆	生産振	興ビジョンの	战培面積	達成率					
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	芟		R 8 年 度
		КР		時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	
		IX I	1			目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	%
			:	現状値	97 %	実績値	99 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値	Ī	%	実績値	%
						達成率	99.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
					スト	最終現計予 算額	42,000 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				_	A F	決算額	37,294 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額	į	千円	決算額	千円
	5 年	要	因分	析	生産性向上や規定 た。 総括(事業最終年)			設の整備	への支援や需要に	応じた生	上産の推進等	に取り組ん	んだ結果、	目標をほぼ達成し
	度	見直	し方	向性		5年度	のKPIの実績はほ	ぼ目標と	対善・大幅見直し が出ていない が想定していない	おり、糺		!に応じた <u>!</u>	生産に取り	つ組むことから、6年

12月	事項	産地	収益力強化支持	援事業費	<u> </u>					予算主	管課	農産園芸課
補正 後 (追	, ,,,				げられた施設・ 進し、産地収益		整備することに ある。	より、	地域の強	始! 終!		H28 R6
加)		産地	パワーアップ語	十画に掲	げられた施設・	設備整	经備進捗率					
		KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月	支		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間			時点·期間	
	K 1 1			目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値		%	目標値	%
		現状値	- %	実績値	100 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	7,006 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
		_	Λ F	決算額	497 <mark>千円</mark>	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要因:	分析	総括(事業最終年	F度の場合	,							
度	見直し	方向性		5年度の		の成果				業も100%	6の成果た	が見込まれるため、 6

25 当初	事 項	紅ブ	゚リンセス生産原	反売支援	事業費							予算主	管課	農産園芸課
	事業	nt-x	プリンセス」の生産 かの施設整備を支援									始	期	R5
	概要		ブランド強化に向						, = ,,,,,			終	期	R7
		紅ブ	゚リンセス(愛娘	段果試4	8号)栽培	面積								
		KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 原	芰		R 6 年 度	Ę		R 7 年 J	芟		R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	
				目標値	90	ha	目標値	120	ha	目標値	140	ha	目標値	ha
		現状値	60 ha	実績値	80	ha	実績値		ha	実績値		ha	実績値	ha
				達成率		%	達成率		%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	25,120	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A 1	決算額	24,179	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円
5 年	要因:	分析	R5年度実績値は 産意欲が高い農業 総括(事業最終4	Rには苗だ F度の場合	木が行き渡っ	っている	が、今	後、栽培技	術や販売	言方法が	で確立すれば			家は様子見の状態。生すると思われる。
度	見直し	方向性		苗木の譲 解明や高		傾向にな	あるため みを図る	o、R6年度が る。これによ	から取り	組む安	定生産技術の			战培面における課題の 平価を得て、農家の生

26	当初	事 項	経営	所得安定対策等	推進事	 業費					予算主	 E管課	農産園芸課
		事業	経営	 所得安定対策を	推進す	 るため、農業者	等への	普及啓発を行う	協議会	及び同対	始	期	R5
		概要	策を	支援する市町へ	の支援	等を行う。					終	期	R8
			経営	所得安定対策等	加入申	請件数							
			KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 月			R 8 年 度
		KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
		K F I			目標値	3800 <mark>件</mark>	目標値	3800 件	目標値	3800	件	目標値	3800 件
			現状値	3789 件	実績値	3434 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
					達成率	90.37 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				スト	最終現計予 算額	80,000 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			_	A F	決算額	72,860 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
				評価年度(「達成	率100%	6未満」の場合、要	記入。)					
				生産者の高齢化や	担い手	下足に加え、大規模	農家へ	の農地集積が進んて	ごいるこ	とから、申	請件数は派	咸少傾向	(前年比90.6%) にあ
	5 年	要因為		るため未達成とな 総括(事業最終年		合、要記入。)							
	度	見直し	方向性	5 年 次 章	年度の	目標達成率が想定。 様の状況が見込まれ	よりも低 いるため	つ、6年度の執行か	加え、活ら、地域	高齢化による 或農業再生協	協議会に対	する説明	う現状を踏まえると 6 会において経営所得安 る成果の向上につなげ

á初													
	事 項	観賞	用ユーカリ	産地	拡大事	業費(中予)					予算:	主管課	農産園芸課
	事業	全国	 有数のユー	カリ	産地で		産地拡	 大を推進するた。	 め、苗	供給体制	姓	讲	R4
						、供給力の向上					<u>*</u>	 §期	R6
ŀ											/μ.		INO
			地域のユー										
		KPI種別	±/0 0 CZ(R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 5		n+	R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R4年度	支 ———		R5年度		R6年度	時点·期間		la a	時点·期間	
		TO 1 1 / to	12.0	h	目標値	15 ha	目標値	16 ha	目標値		ha	目標値	ha
		現状値	13.8	ha	実績値	15.5 ha	実績値	ha	実績値		ha	実績値	ha
					達成率最終現計予	103.33 %	達成率	% TM	達成率		% I	達成率	% ************************************
		コ	スト		算額	1,601 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	千円
			- 一		決算額 を1,000	1,400 <mark>千円</mark> 5未満」の場合、要	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
5	要因分		総括(事業量	最終年.	度の場合	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
等 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	見直しフ	5向性	維持	R	4年度が	からR5年度にかけ	て1.5ha	善・大幅見直し(の面積拡大があり 行方法の見直しは	、今年月	度も同程度 の	の増加見込	込みのため)、KPIは目標達成する
月	事 項	農業	田被覆資材	価格	三 聯対	策緊急支援事業	 費				予質:	 主管課	農産園芸課
証								影響を緩和するた	め、資	材コスト低			R5
	事業							は農業の発展に寄与				ì期 ————	
	概要	対し	、生産に必要	かつ作	物生産	に影響が大きい被	覆資材に	ついて支援する。			終	§期 ————————————————————————————————————	R5
		支援	を受けた農	業経	営体の	経営の継続率							
		KPI種別	上がると良い	ハ指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 🛭	芰		R 8 年 度
	KPI	時点・期間	R4年度	芰	時点·期間	R5年度	時点·期間		時点·期間			時点·期間	
					目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	%	目標値		%	目標値	%
		現状値	_	%	実績値	100 <mark>%</mark>	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
					最終現計予	62 000 壬田	最終現計予	4円 カー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	最終現計予		エ田	最終現計予算額	千円
			スト		算額	•	算額		算額		千円		
				F>+ 1>-	決算額	11,306 <u>千円</u>	決算額	千円			千円	決算額	千円
		要因分	要因分析	要因分析	評価年度(「達成至	決算額 決算額	コスト 決算額 11,306 千円 評価年度(「達成率100%未満」の場合、要	コスト 決算額 11,306 千円 決算額 評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 要因分析	コスト 算額 02,000 千円 算額 千円 決算額 11,306 千円 決算額 千円 要因分析 要因分析	フスト 決算額 11,306 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 要因分析 要因分析 では、	フスト 決算額 11,306 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 評価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 要因分析 要因分析 では、	フスト 決算額 11,306 千円 決算額 千円 決算額 千円 大円 大円 平価年度(「達成率100%未満」の場合、要記入。) 要因分析	決算額 11,306 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 千円 決算額 平円 平円 平円 平円 平円 平円 平円 平

29 💾	初	事 項	野菜	・花き等産地係	給力強	化支援事業費						予算主	管課	農産園芸課
		事業	野菜	・花き等産地の供	給力強化	を図るため、「愛娘	爰県野芽	束・花き振興	計画」	に定め	る重点振興	始	期	R4
		概要	品目等	等の生産拡大や収	量向上に	必要な施設・機械等	等整備(の支援を行う	· .			終	期	R7
			系統	組織におけるさ	ゅうり	・さといも栽培	面積							
			KPI種別	上がると良い指	三	R 5 年 度		R 6 年 度			R 7 年 J			R 8 年 度
		KPI	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度		時点·期間	R7年度		時点·期間	
					目標値	291.7 <mark>ha</mark>	目標値	295.7	ha	目標値	299.8	ha	目標値	ha
			現状値	287.6 ha	実績値	279 <mark>ha</mark>	実績値		ha	実績値		ha	実績値	ha
					達成率	95.65 %	達成率		%	達成率		%	達成率	%
			_	スト	最終現計予 算額	18,734 千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
				~ 1	決算額	14,425 千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額	千円
	5 年	要因分	分析		が多く和	重芋の腐敗が多く発								付面積が減少した。ま
J	叓	見直し方	5向性		気象条件	容の説明(維持・原により既存の産地は6年度予算の執行方	は栽培配	面積が減少し	たが、	新しいは		ては栽培面	積が順調	に増加していることか

30	当初	事 項	野菜	生産出荷安定資	金造成	事業費						予算主	三管課	農産園芸課
		事業	野菜	価格の低落に際		生産者に	 :価格保	 証を行	うことにより、	野菜農	家経営の	始	期	S41
		概要	安定	を図るために必	必要な資	金を造成	する。					終	期	
			県内	指定野菜産地の	出荷計	画量に対	する出	荷割合	ì					
			KPI種別	上がると良い指標	票	R 5 年	度		R 6 年 度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度
		KPI	時点・期間	R3年度	時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度
					目標値	80	%	目標値	80 <mark>%</mark>	目標値	80	%	目標値	80 <mark>%</mark>
			現状値	79 %	実績値	80	%	実績値	%	実績値		%	実績値	%
					達成率	100.00	%	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			٦	スト	最終現計予 算額	26,813	千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
					決算額			決算額		決算額		千円	決算額	千円
	5 年	要因	分析	評価年度(「達成 総括(事業最終年										
	度	見直し	方向性	Ę	野菜価格		価格補均	真を行う	対善・大幅見直し が制度として産地の			ることから	、6年度の	の執行方法や7年度予算

当初	事項	高級	菓子用くだもの	産地確	立事業費	(南予)						予算主	上管課	農産園芸	課
	事業	高級	菓子用くだもの産均	也化を図	るため、和	菓子メー	-カーと	∠宇和島圏 ^は	或3市町及	えびJAと	の連携を	始	期	R4	
	概要	一層	強化するとともに、	加工用	に特化した	省力·多	収技術	の確立を図	る。			終	期	R6	
		南予	地域の高級菓子	用くだ	もの販売額	額									
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度	Ę		R 6 年 原	支		R 7 年 /	芰		R 8 年 月	
	K P]	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度		時点·期間	R6年度		時点·期間			時点·期間		
				目標値	25.6	百万円	目標値	26.7	百万円	目標値		百万円	目標値		百万円
		現状値	16.6 百万円	実績値	24	百万円	実績値		百万円	実績値		百万円	実績値		百万円
				達成率			達成率		%	達成率		%	達成率		%
			スト	最終現計予 算額	1,100	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
			7 1	決算額	1,074	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
			年明けの低温遭 メーカーとの価格					減少した。					り生産量の	の増加と、高	高級菓子
5 年	要因	分析		交渉を込	進めたことに	こより、は	収量が	減少した。					り生産量の	の増加と、高	高級菓子

32 È	当初	事 項	鳥獣	鳥獣害防止地域体制強化支援事業費									農産園芸課			
		事業	鳥獣語	鳥獣害に立ち向かう地域体制を強化するため、専門性の高い知識・技術を習得した鳥獣管理専 門員を育成するとともに、有害鳥獣ハンターの確保や捕獲隊の組織化支援等に取り組む。								期	R3			
		概要	門員を									期	R8			
			野生	野生鳥獣による農作物被害額												
			KPI種別	下がると良い指標 R 5 年 度			R 6 年 度	R 7 年 度		臣		R 8 年 度				
		K P I	時点・期間	R3年度	時点·期間	R5.6	時点·期間	R6.6	時点·期間	R7.6		時点·期間	R8.6			
		K F I			目標値	375000 千円	目標値	366000 千円	目標値	357000	千円	目標値	350000 千円			
			現状値	380399 千円	実績値	367914 千円	実績値	千円	実績値		千円	実績値	千円			
					達成率	101.93 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%			
				7 .	最終現計予 算額	24,299 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円			
				スト	決算額	18,640 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円			
	5 年	要因		総括(事業最終年度の場合、要記入。)												
	度	見直し	方向性	見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 各対策にバランスよく取り組んだことから目標達成につながったものと思われるが、ここで対策を弱めると再度 害額が高まることから現状を維持しながら今後もバランスよく各事業を執行していくことが必要である。 維持												

2月	事項	鳥獣	鳥獣害防止対策事業費									予算主管課		農産園芸課	
補正	事業		鳥獣被害を防止するための被害防除施設の整備、有害鳥獣の捕獲等の施策を総合的に展開し								始期		R3		
	概 要	17.	、地域住民の主体的な参加による鳥獣害防止対策を推進し、農林作物等被害の軽減を進め 。								終期		R8		
		野生	予生鳥獣による農作物被害額												
		KPI種別	下がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度			R 7 年 度		Ŧ		R 8 年 度	
	ΚP	時点·期間	R5.6	時点·期間	R5.6		時点·期間	R6.6		時点·期間	R7.6		時点·期間	R8.6	
	KP.		367914 千円	目標値	375000	千円	目標値	366000	千円	目標値	357000	千円	目標値	350000	千円
		現状値		実績値	367914	千円	実績値		千円	実績値		千円	実績値		千円
				達成率	101.93	%	達成率		%	達成率		%	達成率		%
			スト	最終現計予 算額	239,187	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
		_	X 1	決算額	224,858	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年	要因	分析	総括(事業最終年度	度の場合	合、要記入。	·)									
度															